

せいふ館通信

第33号 / 2008年11月 / 発行:(財)合気会神戸支部せいふ館
編集・文責:土井郁子、坂田真理 支部長:中尾眞吾 道場長:濱崎正司
〒650-0011神戸市中央区下山手通8-20-17 えぬビル3F白蘆林内
Tel (078) 382-1659



道主のごあいさつ

植芝守央／合気道道主

神戸支部せいぶ館道場50周年、本当におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。北は福島から南は広島くらいまでせいぶ館に縁のある方々、また関西圏の合気道の代表の方々がこのように大勢集まってお祝いに駆けつけてくれたこと、本当に素晴らしいと思っております。

50年前、合気道がどれくらい社会に浸透していたかといえば、フランス、アメリカ、イギリスなど7、8カ国くらいのささやかなものでした。それが今では約96カ国に合気道の愛好者がおり、それぞれ組織を作って活動をしています。国内も、大小の差はありますが、北海道から沖縄まで大きな輪があります。当時、今のような状況は考えられなかったのではないのでしょうか。50年間の歩みの中でそれほど大きな輪の広がりをみせました。

せいぶ館にはその草創期の方がまだ実際に稽古をされています。今に至るまで協力し合って歴史を築き上げてきた素晴らしい先駆者達で、これも人の輪であり、合気道の礎です。このことを大事にして、更に60、70年と、良いものを良い形で繋げていく気持ちで、常に前向きに歩んでいただけたらと思います。おめでとうございます。

ありがとうございました

中尾眞吾／支部長／六段

楽しかった、嬉しかった、おもしろかった、ヨカッタなあ・・・感謝、です。

お蔭様でせいぶ館創立50周年行事を無事終える事が出来ました。多くの皆様が、お忙しい中、遠くアメリカ・福島・埼玉・東京・横浜・名古屋・広島・岡山・・・から駆けつけて下さいました。又、関西地区研鑽会の道友、兵庫県連盟の仲間達、かつて精武館・せいぶ館で暑い汗を流した面々、ようけのええ顔が一杯の会でした。



道主ご指導の稽古、420畳に450人の稽古人。あのひとと稽古したい、あのひととも相手になってもらいたい、と臨んだ稽古でもありました。畳からはみ出し板の間で稽古をしている人達（申し訳ない！）・・・あっという間の90分でした。武道の稽古やのに、笑顔溢れる時間でした・・・「なんでやのん？」・・・ This is Aikido



全日本演武会では感じる事が出来ない、至近距離での道主演武。道主の息遣いが聞こえ、笑みもくっきり・・・栗林さんを投げ、小山君をぶっ飛ばす・・・後半は沢田さんが登場し、多人数掛け・・・よかったなあ・・・、沢田さんの受け？・・・ちゃうちやう！！

稽古後のパーティー、みんな喉が乾き切っている・・・乾杯の音頭は県武道館館長。なかなか「乾杯」の発声がない。早くビールを飲みたいなあ・・・「したり顔」の館長・・・恨めしそう～～な顔顔顔・・・早くカンパ～～イ！！言うてよ！

色んな語らいの輪があちこちで生まれ、時々歓声が上る。久しぶりの再会に肩を叩き合い、握手をし、赤ら顔で二教をしている人もいます。



充分なおもてなしが出来なかった事、ご容赦下さい。そして、心から感謝申し上げます。

今日から又「この一瞬を大事に」愉快地稽古を続けていこうと思います。どうぞせいぶ館に時間の許す限りお立ち寄り下さい。お待ちしております。

それにしても・・・二次会の生ビール、ウ マ イッツ・・・！！

08.10.1

平成20年9月7日 昇段・昇級 おめでとうございます

初段	杉浦永治 森田誠
一級	森田真理子
二級	多田優 杉山将之
三級	門田雅夫 永山恵美子 松井諭
四級	花房麻紀 濱田剛志
五級	梅田治男 阪本晃典 佐々寧昭 陽川隆生 内田光治 本木晋平 清武直子 増瀬晃児
十級	安田日向子 塩田智規 川原由紀子 炭谷祐子

土用稽古完遂者

佐々寧昭 中尾眞吾

《昇段昇級感想文》

稽古は元気の源

杉浦 永治／初段

せいぶ館道場50周年という記念のときに初段をいただき、ありがとうございます。ご指導いただいた皆様方に感謝申し上げます。

さて、私は45周年の春に入会。当時、まだまだ惑う40歳。何かの図書で「合気道は動く禅である。」という一文を読んだことがきっかけで、合気道に興味を抱くようになりました。武道経験の全くなかった私には、合気道は未知の世界で、当初、安易に稽古に参加したものの、痛い、辛い、解からない状態がしばらく続きました。それでも、徐々にできる動作が増えてくると、段々と楽しくなってきます。稽古は、気持ちを落ち着かせ、充実させてくれます。生活にもメリハリがつき、風邪をひくことも少なくなりました。40代半ば、やや疲れ気味の私には、合気道の稽古が、元気・活気・根気の源泉になっています。

合気道は、上手下手はありますが、勝ち負けもなく、老若男女、世代や性別を問わず、多様な心構えで取り組むことができます。様々な雰囲気ですごくの方が稽古をしています。私も惑いながら5年半、怪我也有りましたが、愉快地に稽古しています。自分なりに楽しみ、続けることが一番です。

それでも、いつまでも楽しさだけでバタバタするのも芸がないので、55周年のときには泰然とした雰囲気を少しでも醸し出せるよう、稽古に努めたいと思います。これからもよろしくお願いします。

節目の年に

森田誠／初段

私がせいぶ館で合気道を始めたのは、平成17年2月頃。初めは技を覚えるのでやっとなさでしたが、あれから3年を超えた今年の審査では初段を頂くことができました。夏の汗だくの稽古や冬の手足かじかむ稽古など思い出すと、よく頑張ったなとちょっと自分を誇らしく感じます。

また、今年はせいぶ館創立50周年ということであり、節目の年に初段をいただけたことにも感慨深々。50周年記念講習会では、植芝守央道主指導の下、400畳の広さを埋め尽くすたくさんの人の中でいい汗をかくことができました。

最後に、合気道はおもしろい。入り身、転換、転身を駆使し、相手を導き、衝突を生まず崩し制することが出来る。そんな他の武道にない魅力に惹かれて、これからも稽古に励もうと思います。

これからもご指導のほどよろしくお願いします。

縁(えにし)

森田真理子／1級

今年、せいぶ館は創立50周年を迎え、9月21日に記念行事が行われました。

道主ご指導の下で始まった稽古には、私自身は足の怪我のため見学を余儀なくされたのですが、その分参加された皆さんが真剣に稽古されている姿をしっかりと目に焼き付けることができました。全国からお集まり下さったたくさんの方々、そしてせいぶ館の仲間たち。400畳の畳に収まりきらず、体育

館の固い床の上で受け身を取っている人もありましたが、それでも一生懸命互いの技を磨き合っておられたと思います。

この講習会、そして引き続き行われたパーティーを通じて感じたことは、この場に私が立ち会うことができたという嬉しさ、晴れがましさと同時に「どうして私がこの場に導かれたのだろう」という不思議さでした。ほんの3年半前まで、私の周囲には合気道をやっている人は1人もいず、合気道そのものがとても遠い存在でしたから。数々の偶然？が無ければ、今でも合気道とは無縁だったことでしょう。そして、その事が私の生活を豊かにしてくれている事に改めて深く感謝しています。

これからもこの縁を大切に、より太く長くつないでいけるよう努めたいと思います。

これからの稽古では

杉山将之／2級

2級合格させて頂きありがとうございます。毎度のことながら、試験というものは緊張して疲れます。終わってくれたので、ほっとしています。

今年は道場が50周年を迎えます。この年に2級になれた事は今後忘れることがないと思います。この道場に通いだして50周年の行事に参加できることをうれしく思っています。

世間では、雑誌のマガジン・サンデー、HONDAのカブ、チキンラーメンなどが50周年を迎えたと聞きます。改めてうちの道場も歴史が深いんだなあと思いました。

これから、また55周年、60周年と稽古を続け行事に参加していきたいと思っていますが、それに伴って稽古の方も基礎をきちんとするとともに、裏にしっかりと入るとか、1つ1つを確実にこなしていきたいと思っています。

合縁奇縁

多田優／2級

この度は昇級させて頂き有り難う御座います。

最近フッと思い出した言葉があります。それは「合縁奇縁」。昔、会社の上司がよく言っていた言葉です。

確かに人と人との結びつきは不思議なもので、せいぶ館にも知り合いの紹介で入会し、今こうして色んな方と知り合う事が出来ています。私は口下手なので自分から話しかけるのが苦手ですが、この昇級を機に少しずつ皆さんとお話しが出来たらな、と思います。

最後に、精神・体力的にもまだまだですがこれか

らも頑張りますのでご指導の程 宜しくお願い致します。

不惑の誓い

門田雅生／3級

この度は、3級を認めていただき、ありがとうございました。3年半前に稽古を始めたときには、手ばかり先に動き力が入り、どうなることやらと思っていましたが、ようやく力の抜き方がわかってきた感じがします。21日の50周年記念行事に参加して、本当にたくさんの他道場の方々と稽古をすることができたことは、喜びであると同時に大きな自信になりました。

気が付けば私も40歳、不惑という歳になってしまいました。これからは仕事と合気道に関しては何があっても迷ったり辞めたりせずに、努力を積み重ねていこうと思います。

優しい手 やわらかい手

永山恵美子／3級

この度は3級をいただき、ありがとうございました。

「母の手は 菊の花に似ている。 固く握りしめ、それでいて やわらかい母の手は 菊の花に似ている。 神様がたった一度だけ この腕を動かして下さるとしたら 母の肩を たたかせてもらおう」星野富弘詩集『ばら・きく・ななず』より

今、加古川混声合唱団で練習している歌です。年若くして身体のほとんどの機能を失ってしまった息子を長年支えて来た、星野さんのお母さんの姿が描かれています。合気道の稽古でも、いつも中尾先生に『柔らかい手』で取るように言われ、実際やるとなると難しいのですができるだけそのイメージを大切にしています。人生でも支えるべき人をそっと支えて しっかり受け止める優しい手を持った生き方をしたいなあ！

さてさて、今日も姫路の中尾教室では始めから終わりまで明るく高らかな笑い声が響き渡ります。私たちは元気をたくさんもらってピカピカのシャキーン！で帰途につきます。先生は何か吸い取られたのか、ショボショボ～となって帰って行かれるように見えます。最近特に。 ありがとう 先生。 ごめんね 先生。

新たな目標

松井諭／3級

この度の審査で3級に上がりました。いつものことながら皆様に感謝します。

さて、せいぶ館に入って2年半くらい。級の半ばにやっと到達しました。昨年の昇級作文で減量を目指しておりましたが、なかなか平行線から脱却できず、N尾先生から「反省がないなあ。」とよく言われますので、目標という目指すものではなく、これからの克服すべき課題、解消すべき問題として取り組みたいと思います。

その代わりに、新たに目標を立てることにしました。それは「二段を取ること」。普通なら、初段で袴を穿くのが目標という方が多いと思います。私には二段を取りたい理由があります。それは、今の私の体型から想像つかないとよく言われるんですが、実は中学・高校と剣道をしていて、恥ずかしながら初段の段位を持っているからです。二段については挑戦したものの、記憶にあるだけで6、7回は審査に落ち、結局は取ることができませんでした。毎回、二段の壁を越えられずに悔しい思いをしたのを覚えています。

今、合気道を続けてきて、十数年前、剣道では打ち破れなかった二段の壁を合気道で打ち破りたい・・・と思うようになりました。達成するにはまだかなり長い道のりですし、いくつもの障害もあると思います。それでも二段を取るまで一步、一步無理をせず確実に進んで行きたいと思います。ただ・・・減量という課題の克服が今の大きな障害かもしれません。痩せねば！

合気道への道

花房麻紀／4級

この度は4級に昇級させて頂きありがとうございます。今までに昇級試験を受ける機会を体調不良の為に2回逃してしまっていたので体調管理も課題の1つだと感じました。

9月7日に行われた審査も年に2回の一大イベントですが2週間後に行われた50周年記念行事は審査があったことを思わず忘れてしまうぐらいの特大イベントでした。ホームページに載っている集合写真を見て、改めてこんなに大勢の人が集まったんだとびっくりしました。せいぶ館以外の人と稽古ができた事はもちろんですが道主の演武を間近で見ることができ、合気道を始めて2年目の私が、歴史あるせいぶ館の50周年行事に参加できて貴重な体験をして、本当に幸運だと思いました。審査では先生方から厳しい意見が多くありましたがせいぶ館で合気道をしていて良かったと思える素晴らしい1日でした。

た。次の55周年、60周年そして3級を目指して、せいぶ館の歴史をほんのちょっとでも担うことができるように稽古していきたいと思っていますので、これからもよろしくお願いします。

良かった

濱田剛志／4級

4級に合格させていただきありがとうございます。今回の試験では体調があまりよくなかったのですが、何とか合格出来て良かったです。まだまだこれからなので、ご指導よろしくお願いします。

入口

阪本晃典／5級

せいぶ館に通い始めて1年が経ちました。とは言っても、道場に行くのは週2回。小心者のため他の曜日に行く勇気もなく、月曜日・水曜日の初心者クラスのみ。仕事が忙しいときは1度もいけない月も。間があれば行く、というのが億劫になり、「辞めてしまおうか」と何度も投げ出しそうにもなりましたが、稽古の時に先輩方が、何もわからない初心者の自分にも、とても丁寧に教えて下さり、楽しく稽古をさせていただき、その時の稽古の楽しさ、稽古後の爽快感が支えとなり、何とか続けることができました。

もともと合気道を始めようと思ったきっかけが、運動不足で最近おなかのお肉が気になってきたので、運動不足解消と、それとは、矛盾してうまいビールを飲むためと言う、安易な動機でした。いざ始めると、身体は痛い、技は覚えられない。毎回、稽古に来ては、頭の中は、？、？、？でした。

そんな自分が今回、審査を受けて、5級をいただきました。賞状を頂き、道場の壁の5級の位置に自分の名前が掛けられ、ようやく入口に立てたような気がします。

これからも亀の歩みではありますが、1回1回の稽古を大切に、1つ1つ教えていただいたことをものに、1歩ずつ前に進み、よりいっそう稽古に励みたいと思います。

この度は、5級を頂き、有難うございました。まだまだ皆さんには、ご迷惑をおかけする事とは思いますが、ご指導のほど宜しくお願いいたします。

入身投げ

佐々寧昭／5級

入門して1年が過ぎ、この度5級をいただきました。いままで指導して下さった皆様ありがとうございます。また、これからもよろしくお願いいたします。

50周年で道主の講習会を受けるときに特に気にして見たのが入身投げです。というのも入身投げがなかなか思うようにできないからです。他の人が入身投げをかけてきても人によってずいぶん違うように感じます。というわけで、道主がどのような入身投げをされるのか大変気になりました。実際に見みると非常にきれいな入身投げでした。で、道主の入身投げから得られたものとはというと・・・「正直なところあまり無い」というのが感想です。結局のところ技をかけてもらわないとあまり良く分かりません。見ているだけでは理解できませんでした。（見取稽古は苦手）

見て学ぶのは苦手けれども、講習会はいろいろな発見があり楽しかったです。

下手の考え休むに似たり

梅田治男／5級

この度5級をいただきました。審査をしていただいた先生方、ご指導いただきました皆様方、受けを取っていただいた陽川さん、誠にありがとうございます。

入会して早いもので2年半の歳月が過ぎましたが、今もって右も左も何もかもわからない状態です。頭で考えているうちは駄目だとわかっているのですが、ついつい無駄な思考を重ねてしまいます。稽古中もさることながら、稽古をしていないときにも考えを巡らせ、悶々とする日々が続いております。「余計な事を考えず無心で稽古をしたほうがいいのか。いろいろなことを考えつつ試行錯誤しながら稽古した方が上達が早いのだろうか。いや、そもそもこんなことを考えている間に稽古をしたほうがいいのか。稽古はたくさんしないと。しかし稽古をするとして、どういう状態で望めばいいんだろう。やっぱり無心でやるのがいいのか（以下ループ）。」

不器用ゆえに上手く習得できず、ご指導中に変な質問をするかも知れませんが、お見捨てなきよう、これからも宜しくお願いします。

ようやく1年

陽川隆生／5級

せいぶ館で合気道を教えていただいて、10月で1年になります。合気道を習うことに最初はかなり躊躇しましたが、今思えばせいぶ館に来て「ほんとよかった」と思います。

試験というものを久しぶりに受けたので、かなり緊張しましたが、なんとか本番を終えることができました。後で試験を撮影したビデオを拝見させていただきましたが、思った以上に出来の悪い技の数々でした。。。これからはがんばっていこう、と思う瞬間でした。

飽き性の自分が1年も続けることができたのも、皆さんが丁寧に技を教えて下さったおかげです。ほんとうにありがとうございます。

それと、この間の50周年の講習会に参加させていただきましたが、本でしか見たことのなかった道主を間近に見られたことにただただ感動です。他の道場の方とも稽古できたのは良い経験になりました。これからはこういった講習会は積極的に参加していこうと思います。

自分はまだまだ未熟ですが、皆さん、これからもよろしくお願いします。

合気道、おもしろいです！ありがとうございます！！

日々機嫌よく、素直に習う

内田光治／5級

会社員などという因果な仕事を20年近くやっていると、後輩も色々と出てくるもので・・・

ある年に、2人の後輩が入ってきました。1人は即戦力と目され最初からスキルも実力ありセンスもある、ただそう言うタイプの人にありがちな、拘り、悪く言えば頑迷な所もある人でした。もう1人は最初から下地もなく大した才能もセンスもないけど、何より明るく素直な人でした。で、10年以上たった今どうなってるのかというと。最初から下地もなく大した才能もセンスもないだろうと思われていた人の方が大化けしました。そこで、私は 明るく 素直に習う という事の重要性と、拘りはいいけど執着まで行ってしまうと我で我が身を縛ってしまい成長が鈍化してしまうことを始めて学びました 後輩も良く見てると色々勉強になるものです。

年齢40半ばで運動も苦手、センスも体力も何もない私が合気道を習うにあたって1つこれだけは常に心がけようと思っているのが「日々機嫌よく、素直に習う」と言う事です。もっとも頭ではそう思っても、生来のヘソ曲がりな性格が時折り顔を出すのが困り者でして・・・素直に習うと言うのも私にとっては1つの修行なのかもしれません。

今回この文章を書くにあたって せいぶ館通信

のバックナンバーを読んでいると、ここに書いたことは叶うとか・・・大それた望みですが、死ぬまで機嫌よく素直に合気道を続けていければと思います。

最後になりましたが、いつも稽古を指導していただく先生方、稽古の相手をして下さる皆様、ありがとうございます。おかげ様で竹馬のような高い下駄を履かせてもらって、なんとか5級になる事が出来ました、これからもよろしくお願いいたします。

意識するようになった「型」

本木晋平／5級

この度5級を取ることができました。ご指導いただきましたみなさまにお礼申し上げます。

合格してみるとやっぱりうれしいもので、合気道を続けてよかったと思います。また、以前よりも「型」を意識するようになりました。5級らしく、というのも変ですが、「何のとかやる」から「正しくやる」に変えたいを思っています。

もっとも、どちらの足を先に出せばよいかなど、いまだにわからないことも多く、「半年やってまだ覚えられないの？」と不器用な自分に懲り懲りしつつ、そんな自分をなだめすかしながら稽古に通っているのが実情です。これからもよろしくお願いいたします。

ありがとうございました

清武直子／5級

先日、私は5級の昇級試験を受けました。大人クラスに入って初めての試験だったので、合格するかどうか不安でした。でも合格することができてうれしかったです。ありがとうございました。

10級をもらって

川原由紀子／10級

先月の7日、初めてせいぶ館道場へ行った。道場へ行った理由は、合気道の級をもらうためだ。私は、去年の7月から合気道を習い始めた。習い始めてから1年と少ししかたっていないのに、級をもらえるか心配だった。道場は、私が毎週通っているコープこうべの体育館とちがい、きん張感があつた。しんさを受ける時、とってもきん張していて、場のふん囲気になれそうになったけど、自分もっている力の100パーセントをだして、がんばった。自分の番がおわっても、まだきん張していた。10級をもらった時、とってもうれしかった。これからも合気道のけいこをがんばって、今度は9級をもらいた

い。

きんちょう

炭谷祐子／10級

せいぶ館にははじめて行って、大人の人がいっぱいいてすごいきんちょうしました。でもきんちょうのことはすっかり忘れていて、終わってほっとしたら、またきんちょうを思いだして、またきんちょうしてドキドキでした。でも、もう少しだったのに、と中で帰ってしまいました。

数日後にしょうじょうを先生がもってきて、「うそー」と思いました。

10級をとって

安田日向子／10級

私は正直せいぶ館に来たときに1番に思ったことは「暑い」でした。でも、けいこをするとみんないい人でとても安心しました。いざしんさの時にきんちょうより不安の方がとても大きかったです。これどうからなかったらどうしようとか、やるわざはあれでいいのかなど色々思っていました。しかし、意外とかんたんでとてもリラックスしてしんさをうけられました。10級をとれてとてもうれしかったです。このままどんどん級がとれたらいいなあと思います。

しょうきゅうしけんのこと

塩田智規／10級

ぼくは、9月の7日の日曜日にあいきどうのしょうきゅうしけんを受けました。ぼしょは大くら山にあるせいぶかんどうじょうです。ぼくは、1年生からあいきどうをならいはじめて、はじめてのしょうきゅうしけんを受けました。しょうきゅうしけんはしらないおとなの人たちがたくさんいて、きんちょうしました。しけんの4つのえんぶはむずかしかったけれどじしんはありました。しけんのけっかは10きゅうにごうかくできました。あいきどうをつづけといてよかったです。これからもがんばりたいです。

IAFに이었습니다



去る10月11日、和歌山県田辺市で開かれている第10回国際合気道大会（IAF）に参加するべく、豪華にバス1台を貸しきって、せいぶ館の面々に遠藤師範やティシエ先生らを加えて旅立ちました。

道中、名前の由来や出身・趣味を話す自己紹介の場が設けられ、意外な一面がうかがえるお話に、バスの中は終始和やかな雰囲気。一方で、道路は2ヶ所もの工事で大渋滞。それにより、予定にあった熊野散策は中止、車中での昼食に変更されました……。残念。

さて、この日のメインイベントの奉納演武大会は、日本一の高さを誇る大鳥居をくぐった先、熊野本宮大社旧社地・大斎原（おおゆのはら）で行われました。



今回の演武会は第一部を和歌山県内と大阪・神戸地区の道場が行い、せいぶ館からは濱崎道場長と大里さん、香山さんが参加（お疲れ様でした！）。第二部は海外の道場が行う構成でした。様々な道場の演武を見る機会は数あれど、海外の道場からの参加が26にものぼるのは、やはり国際大会ならではののではないのでしょうか。

そして、この日の締めくくりは、道主の演武。

その頃にはすっかり日が落ち、舞台の四方に据えられたかがり火と、台上を照らすスポットライトとが幻想的で厳粛な雰囲気を盛り上げます。道主が舞台に上がられると、会場は水を打ったように静まり返り、誰もがその力強く綺麗な演武を食い入るように見つめていました。演武が終了すれば、自然と沸きあがる拍手。まさに圧巻！ でした。



演武会終了後、速やかに宿へ移動し、早速宴会開始。

合間に演武会の感想の発表や、芸達者な方々による妙技の披露があり、美味しい料理に舌鼓を打ちながら大いに盛り上がりました。

温泉でさっぱりしてから二次会は翌日の稽古のためか、早めにお開きとなりました。珍しい！

12日は朝からの道主の講習会に参加。

600畳の会場に、1300人を超える参加者が集いました。その内、海外の方は49カ国から600人に及ぶとか。とにかくどこを向いても、人、人、人。

当然、思うように動けるだけのスペースもなく、道主が受身まで取らないで下さいと仰られて、稽古開始。まず背中を伸ばした後に、体の転換、入り身や四方投げ、一教など取り方を変えてテンポよく進んでいき、さまざまな道場・国の方々と、周りに気を配りながらも楽しく稽古できました。あっという間に時間は過ぎ、終わってみれば、人の多さに稽古出来ないのではという心配は、杞憂に終わった2時間となりました。



講習会の後は、道の駅紀州備長炭記念公園へ移動。稽古後の美味しいビールで喉を潤し、備長炭を使ったバーベキューでお腹を満たし、それらを十分に堪能した後は、備長炭を使った風鈴作りを体験しました。

その後、パーティーに参加される濱崎先生と中尾先生、カロリンさんを会場のホテルに送り届け、残ったメンバーは紀州梅干館へ。そして、先生方のホテルでの滞在時間が1時間になる頃を見計らって、ホテルへUターン（その際、扇ヶ浜公園の傍らを通り、開祖の銅像の一部だけでも見ようと、窓に張り付いた人多数）。そうして、神戸へと帰路に着きました。

が、ここでも再び渋滞の悪夢が！ 予定では20時に神戸着となっていたのですが、22時を過ぎるかも……という事態に。遠方へ帰る方の時間もあり、どうなることかと心配されましたが、後半の驚異的な巻き返しにより21時半には帰ってくることが出来ました（運転手さん、ありがとうございました！）。

移動は渋滞に阻まれ時間が足りなくなるなど、やや慌しくもなりましたが、怪我人が出ることなく、無事に済んだ2日間でした。演武会や講習会の中で、皆さんそれぞれにきっと得るものがあり、充実した楽しい時間となったのではないのでしょうか。

最後になりましたが、幹事のお二人、二次会用のお酒やおつまみを準備して下さった方々、ありがとうございました。そして参加された皆さん、本当にお疲れ様でした！

(文責：坂田真理)



これまでの行事

- 5/24(土) 全日本合気道演武会 (日本武道館)
- 6/28(土)～29(日) 遠藤先生講習会 (せいぶ館・甲南大学)
- 7/12(土)～13(日) 祖父江さん講習会
- 7/19(木)～8/1(日) 土用稽古
- 8/3(日) せいぶ館創立50周年記念行事 予行演習 (文化体育館)
- 8/10(日) " 試食会 (チサンホテル)
- 8/31(日) " 試食会 (菊水)
- 9/7(日) 昇級・昇段審査
- 9/14(日) せいぶ館創立50周年記念行事 最終打合せ (文化体育館)
- 9/21(日) せいぶ館創立50周年記念行事
- 10/1(水)～2(木) マレーシアYMCA から5人
- 10/4(土) 上海より野倉夫婦
- 10/5(日) せいぶ館創立50周年記念行事 反省会
- 10/7(火)～9(木) シアトルよりFran・Tyler
- 10/10(金) ティシェ師範講習会
- 10/11(土)～12(日) IAF 44人・遠藤先生・ティシェ師範夫婦・カロリン・Fran・Tyler
- 11/3(月・祝) 兵庫武道祭

これからの行事

- 12/7(日) 横田前道場長追悼演武会・総会・忘年会
- 12/14(日) 大掃除
- 12/20(土)～21(日) 遠藤先生講習会
- 12/28(日) 餅つき
- 1/4(日) 稽古始め・新年会

《編集後記》

1年ぶりに稽古復帰して思ったのは、縁はやはり大切だということ。50周年記念行事、IAFと参加して、人の繋がり、の素晴らしさを更に痛感しました。これからまた宜しくお願いします。(坂田)

1日24時間、1ヶ月30日程度、という事実に負けかけたけど、50年間続いたせいぶ館の1日1日の中にちょこっとずつ自分の1日も織り込めることができて幸せです。ありがとうございました。(土井)

[せいぶ館道場 入会案内]

■会費

- ・入会金 5,000円
- ・会費 なるべく3ヵ月分以上を前納して下さい

一般	5,000円/月 (一括払いの場合：28,000円/半年、50,000円/年)
小～大学(23歳以下)	3,000円/月
65歳以上	4,000円/月
70歳以上	3,000円/月
ビジター料金<1週間有効>	1,500円/一般 1,000円/小～大学生(23歳以下)・65歳以上
	2,000円/本部師範及びそれに準ずる先生の指導日

- ・休会時は事前に届を出す、500円/月になります(会費の滞納が6ヵ月以上続いた場合は退会とみなします)
- ・会費を銀行振込する場合：日新信用金庫・宇治川支店 普通No.340076 せいぶ館佐治孝雄(セイブカン サジタカオ)
- ・会費を郵便振替する場合：口座番号：14340-56119711 加入者名：せいぶ館佐治孝雄(セイブカン サジタカオ)

■稽古中のケガ、その他事故については会員個人の責任とします

- ・紛争は当事者同士で解決して下さい。
- ・スポーツ安全保険(毎年3月に切換え)に加入して下さい。 <大人1,500円/年、小学生500円/年>

(財)スポーツ安全協会 〒650-0011神戸市中央区下山手通4-18-2 兵庫県健康公社内 Tel (078) 232-9651

■気持ちよく稽古ができるように

- ・道場内外は来た時よりも美しく。 ・道場内は原則として禁煙・禁酒・禁飲食・禁携帯電話です。
- ・道場内には私物を置かないで下さい。 もし私物を1週間以上放置している場合は道場で処分します。

■稽古時間 <2008年11月現在/祝祭日・年末年始等は掲示にご注意下さい

(初心者)は初心者クラスです/★マークのクラスには一般も参加できます>

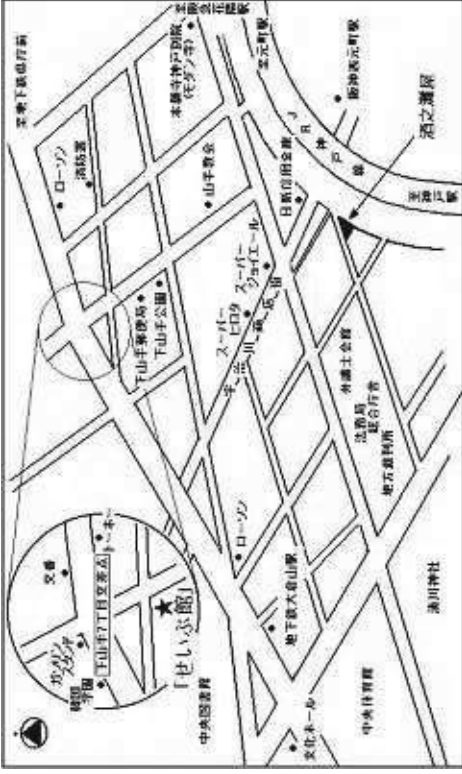
	朝のクラス	昼のクラス	夜のクラス
月	7:00～8:00 (初心者)★ 中尾		18:30～20:00 (初心者)★ 久美
火			18:30～20:00 佐伯
水	7:00～8:00 中尾	13:30～15:00 (レディース)★ 明子	18:30～20:00 玉置
木		16:45～18:00 (子供クラス)★ 新阜	18:30～20:00 (初心者)★ 佐治
金	7:00～8:00 中尾		18:00～19:00 岡田
土	9:30～11:00 (初心者)★ 中尾	15:00～16:30 (子供クラス)★ 古殿	19:00～20:00 井出
日	9:30～11:00 中尾		18:30～20:00 松平
	11:10～12:10 濱崎	← [毎月第2日曜：藤井]	↑ [毎月第2日曜前日：藤井]

【**明石道場**】 水：19:00～20:30 (山下)

【**COOP住吉子供クラス**】 土：17:00～18:30 (長谷川)

杖道部 <神道夢想流> 会費：1,000円

月、土：11:40～14:30 (小畑) 毎月第1日曜(古流&自主稽古)：13:00～15:00 (小畑)



■道場への最寄り駅 (徒歩時間)

- 地下鉄 大倉山駅から3分
- 地下鉄 県庁前駅から5分
- 阪急 花隈駅から5分
- 阪神 西元町駅から7分
- J R 神戸駅から12分
- 高速 神戸駅から12分

(財)合気会神戸支部 せいぶ館

支部長：中尾眞吾/道場長：濱崎正司/副道場長：打越明夫

〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目20-17 えぬビル3階 白蘆林内

Tel (078) 382-1659 / FAX (078) 341-3980

<せいぶ館ホームページ> <http://www.seibukan-kobe.org/>

白蘆林(はくろりん)のこと

少年や若者が合気道を通じて強く逞しく、優しい思いやりのある人間になれるように、また、大人もそうあり続けられる、そんな青少年健全育成の場でありたい。そういう思いから、下村湖人著「次郎物語」から「白蘆林」と名づけました。



若林師範、せいぶ館で指導



集合写真



稽古終って直会、藤井さんと



畳の準備中です 重いなあ



演武リハーサル



司会の大里くん



道主



受け 栗林師範



道主から直接指導(運の良い人)



稽古風景



子供達も頑張って稽古



女性有段者と少年部演武



中尾支部長演武



道主演武・杖取り



道主演武・3人掛け

記念パーティ



道主



佐藤先生



山本加古川市教育長



若林師範



かんぱあーい! 佐見津県立武道館長



衛藤久美さん司会、栗林特別相談役



濱崎道場長



道主と石田さん



食事しながら楽しく



道主と



女性達も楽しんでます



おしゃべりはつきない

二次会



ここでも盛り上がりました



ようやったなあ・!? いやあっ・・・ 大変でした
よお・・・



合気道にかんぱーいっ!